

報道関係各位

2005年2月24日

ノバルティス ファーマ株式会社
アクロメガリー広報センターを設立
～専門医を中心にアクロメガリー（先端巨大症）に関する情報を積極的に発信～

ノバルティス ファーマ株式会社（本社：東京都港区 社長：馬場宣行）は、希少病であるがゆえに発見が困難であるアクロメガリー（先端巨大症）に関する正しい情報を、潜在患者および医療関係者に対して提供し、早期発見、早期治療の大切さを伝えることを目的に、「アクロメガリー広報センター」を設立いたしました。

同センター設立に際しては、アクロメガリーの第一人者である3名の医師に顧問としてご協力いただきました。脳下垂体手術の分野で1600余例の手術経験を持ち、日本を代表する脳神経外科医である日本医科大学脳神経外科教授の寺本明先生、内分泌内科の分野における第一人者であり、アクロメガリーの術後のフォローアップに積極的に取り組んでいる独立行政法人国立病院機構京都医療センター臨床研究センター長の島津章先生、脳外科の専門家であり、自ら開業し山王クリニック院長として治療にあたっている一方、日本医科大学脳神経外科非常勤講師である山王直子先生の3名を中心に積極的な啓発活動を展開していきます。

具体的な活動としては、潜在患者向けの小冊子や一次診療医師向けの小冊子を作成、無料配布し、広く情報を提供していきます。また、同センター専用ホームページも開設し、アクロメガリーの最新情報を提供していきます。また、各種学会や団体の市民フォーラムやセミナーへも積極的に参加していく予定です。

報道関係の皆様には、プレスセミナー等を実施し、顧問医師へのインタビューや意見交換、罹患患者の生の声を聞く機会を設けることで、アクロメガリーに関する幅広い情報を提供していきたいと考えております。

アクロメガリーは、脳下垂体にできた腫瘍から成長ホルモン(GH)が過剰に分泌されることによって起こる病気です。過剰に分泌される成長ホルモンが骨や筋肉に影響を与え、手足が大きくなる、下あごが出て受け口になる、眼や額が突出する、鼻、口、唇、舌などの軟部組織が大きくなるなど、数年のうちに顔つきや身体の一部が変貌します。また、成長期に発症すると、手足や身長が異常に伸びる巨人症になります。大部分は良性の腫瘍です

が、適切な治療が行われずに、長期にわたって成長ホルモンの分泌が続いた場合には、糖尿病や高血圧、高脂血症といった合併症を併発し、さらには脳血管障害、心臓病などの深刻な病気を引き起こすこともあり、平均で10年程度寿命を縮めるといわれています。

また、腫瘍により他のホルモン分泌が低下することで、疲れやすくなったり、月経不順や勃起不全などの症状を引き起こします。さらに腫瘍が脳内を圧迫することで、視神経や硬膜が圧迫され、視野が狭くなる、頭痛に悩まされるなどの症状も発生します。

アクロメガリーは、生活習慣病などのいろいろな症状に隠れていることが多く、また希少病であるがゆえに、なかなか発見されないことが多いのが実状です。病気のサインを見逃さないように、一人でも多くの方々にこの病気の存在を知っていただきたいと思っています。

【アクロメガリー広報センターについて】

目 的： アクロメガリーの早期発見、早期治療の促進
アクロメガリーに罹患している患者のQOLの向上

顧 問： 日本医科大学 脳神経外科 教授 寺本 明先生
独立行政法人国立病院機構京都センター臨床研究センター長 島津 章先生
山王クリニック院長 日本医科大学脳神経外科 非常勤講師 山王 直子先生

運 営： アクロメガリー広報センター
東京都渋谷区渋谷 2-12-19 東建インターナショナルビル 11F
株式会社プラップジャパン内に設置

主 宰： ノバルティス ファーマ株式会社

一般の方からのお問合せ先：<http://www.acromegaly-center.jp>

この件に関する報道関係の方からのお問合せ先

株式会社プラップ ジャパン 和泉／林

Tel: 03-3486-2673（報道向け） / Fax: 03-3486-7502